



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月20日

上場会社名 株式会社ブイキューブ 上場取引所 東
コード番号 3681 URL https://jp.vcube.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間下 直晃
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 山本 一輝 TEL 03 (6625) 5011
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け、機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後 EBITDA		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	2,446	△12.8	120	△70.5	△714	—	△755	—
2024年12月期第1四半期	2,807	△6.7	409	△8.0	120	15.1	100	24.4

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △347百万円 (—%) 2024年12月期第1四半期 185百万円 (1.8%)

	親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△213	—	△8.40	—
2024年12月期第1四半期	67	113.0	2.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	11,015	—	1,368	—	5.9	25.25
2024年12月期	10,481	—	23	—	△1.3	△5.35

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 653百万円 2024年12月期 △138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同期増減率)

	売上高		調整後 EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	△11.0	350	△57.5	△800	—	△900	—	0	—	0.00
通期	10,000	△4.4	1,050	△0.3	△700	—	△900	—	100	—	3.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期1Q	26,343,900株	2024年12月期	26,343,900株
② 期末自己株式数	2025年12月期1Q	466,472株	2024年12月期	466,472株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期1Q	25,429,707株	2024年12月期1Q	24,402,796株

(5) 経営指標の算式

調整後EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却費±EBITDA調整項目（※）

（※）EBITDA調整項目：営業収益・費用のうち、非経常または非継続事業の取引損益（M&A関連費用、株式報酬費用、撤退事業の損益等）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	2,807,163	2,446,558	△360,605	△12.8
営業利益又は営業損失(△)	120,375	△714,140	△834,515	—
経常利益又は経常損失(△)	100,160	△755,555	△855,715	—
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属 する四半期純損失(△)	67,674	△213,597	△281,271	—

当第1四半期連結累計期間においては、主に企業向けの防音型個室ブースの設置販売が堅調に推移した一方で、国内の製薬業界の講演会の市場縮小の影響により、売上高は前年同期比で12.8%減の2,446,558千円となりました。

営業損失については、主に連結子会社のTEN Holdings, Inc. のNASDAQ市場への上場に伴う株式報酬費用を536,005千円計上したことにより、714,140千円(前年同期は120,375千円の営業利益)となりました。

営業外損益及び特別損益においては、為替相場が急激な円高基調にある中でグループ間のローンの決済及び換算により為替差損21,496千円(前年同期比266.6%増)を計上したほか、支払利息21,080千円(前年同期比68.0%増)を計上いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

I. エンタープライズDX事業

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	1,113,591	912,886	△200,705	△18.0
セグメント利益	206,012	158,443	△47,569	△23.1

エンタープライズDX事業は、主に企業や官公庁等を対象に、社内外のコミュニケーションにおけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を支援するサービスを提供しております。

具体的には、「Zoom」や「Zoom phone」等のZoom Communications Inc.の提供するサービスのリセール販売を中心としたハイブリッドワーク事業、高品質な通話・配信・会話型AIの機能を簡単に実装できる「Agora」を中心としたビジネスグロス事業、動画の制作・管理・配信が可能な企業向け動画配信プラットフォーム「Qumu」を中心としたリスティング事業で構成されています。

当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は前年同期比18.0%減の912,886千円、セグメント利益は前年同期比23.1%減の158,443千円となりました。これは、SDKの従量課金やZoomの販売などが堅調に推移している一方で、前連結会計年度に実施したプロフェッショナルワーク事業の事業譲渡による減収によるものであります。

II. イベントDX事業

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	955,890	870,921	△84,969	△8.9
セグメント損失 (△)	△55,650	△808,705	△753,055	—

イベントDX事業は、様々な分野におけるイベント、セミナーのリモート化を支援する事業であります。

具体的には、Webセミナー配信サービス「V-CUBE セミナー」や「EventIn」などのセミナー配信プロダクトを提供するほか、イベント配信に係る運用設計、当日の配信サポートや後日のイベントデータ解析などの運用支援サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は、前年同期比8.9%減の870,921千円となりました。これは、国内の製薬業界の講演会市場の縮小は底打ちし、今後の注力領域であるハイブリッドイベントが成長したものの、特定の大口顧客の案件減少の影響によるものです。

また、セグメント損失は808,705千円（前年同期は55,650千円のセグメント損失）となりました。これは、主に連結子会社のTEN Holdings, Inc. のNASDAQ市場への上場に伴う株式報酬費用536,005千円計上したことによるものであります。

III. サードプレイスDX事業

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	737,680	662,751	△74,929	△10.2
セグメント利益	262,879	184,241	△78,638	△29.9

サードプレイスDX事業は、自宅や職場とは異なるサードプレイス（第3の場所）の提供や運用支援を行うことで、昨今日本に浸透しつつあるテレワークを1つのワークスタイルとして定着させることを目的とする事業であります。

具体的には、企業及び公共空間への「テレキューブ」の提供、公共空間における防音型個室ブースの管理運営システムの開発、「テレキューブ」において提供する関連サービスの開発を行っております。

当第1四半期連結累計期間では、セグメント売上高は前年同期比10.2%減の662,751千円となりました。これは、企業向けの防音型個室ブースは引き続き底堅い需要があるものの、公共向けの需要は一巡し、増加ペースが緩やかになったためであります。

また、セグメント利益は前年同期比29.9%減の184,241千円となりました。これは、多様な販売モデルを提供したことによるセールスマックスが変化したためであります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減
資産	10,481,052	11,015,989	534,937
負債	10,457,387	9,647,927	△809,460
純資産	23,664	1,368,062	1,344,398

①資産

第1四半期連結会計期間末において、資産残高は前連結会計年度末比534,937千円増の11,015,989千円となりました。これは、主に連結子会社であるWizlearn Technologies Pte. Ltd.の保有する投資有価証券を一部売却したことに伴い、当該売却代金に係る未収入金をその他流動資産に567,500千円計上したことによるものであります。

②負債

負債残高は、前連結会計年度末比809,460千円減の9,647,927千円となりました。これは、主に長期借入金の返済により残高が減少したことによるものであります。

③純資産

親会社株主に帰属する当期純損失を計上したものの、当社の連結子会社であるTEN Holdings, Inc.が2025年2月にNASDAQ市場へ上場し、公募による新株式の発行を行ったこと等により、純資産残高は前連結会計年度末比1,344,398千円増の1,368,062千円となりました。この純資産増加の影響により、自己資本比率は5.9%（前連結会計年度末は△1.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月21日公表の「2024年12月期 決算短信」におきましては、利益の見通しを合理的に算定することが困難な状況であったため、2025年12月期の連結業績予想について利益の開示を見送りましたが、当第1四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向等を踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を開示いたしました。当該業績予想の詳細につきましては、2025年5月20日公表の適時開示資料「業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において主に連結子会社TEN Holdings, Inc.の業績悪化の継続と、NASDAQ上場準備に伴う費用負担等により2期連続で連結営業損失を計上し、さらにソフトウェアの減損損失等の影響も加わったことで、純資産が毀損いたしました。これにより、金融機関と締結した借入契約における財務制限条項に抵触いたしました。当該財務制限条項が適用され、期限の利益喪失請求権が行使された場合、資金繰りに影響が生じるため、当第1四半期連結会計期間末においても、前連結会計年度に引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象が存在しております。

このような事象又は状況を解消するために、前連結会計年度は財務体質の改善施策の一環として、第三者割当による新株式の発行の他、プロフェッショナルワーク事業の事業譲渡を実行してまいりました。さらに、今後は様々な施策を推進してまいります。

具体的には、主に下記の施策を推進し、収益性をより一層改善した経営基盤の再構築を目指してまいります。

- ・選択と集中による開発投資の適正化と継続的な固定費の削減
- ・2025年2月に実施したTEN Holdings, Inc.のNASDAQ市場への上場と、それに伴う追加の資金調達及び同社株式の一部売却

また、追加的な資金調達施策として、連結子会社であるWizlearn Technologies Pte. Ltd.が保有する投資有価証券の一部の売却を実行いたしました。これにより、当第1四半期連結会計期間において投資有価証券売却益を516,841千円計上いたしました。

更に、当社は金融機関との連携を強めており、上記の施策に加えて、金融機関と協議の上で財務体質の改善に向けた施策を実行してまいります。これにより、今回の財務制限条項への抵触に関しても、期限の利益の喪失の権利行使をせず、事業継続に必要なと認められる支援を継続していく旨の同意を得ております。以上により、当面の資金繰りには問題なく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,006,735	709,967
受取手形及び売掛金	1,580,520	1,520,447
前渡金	10,780	14,542
前払費用	703,144	616,814
その他	267,118	1,472,519
貸倒引当金	△23,126	△20,028
流動資産合計	3,545,172	4,314,262
固定資産		
有形固定資産	1,983,552	1,943,722
無形固定資産		
ソフトウェア	2,509,975	2,400,176
ソフトウェア仮勘定	217,905	272,699
のれん	770,176	708,758
無形固定資産合計	3,498,056	3,381,634
投資その他の資産		
投資有価証券	465,197	391,863
関係会社株式	406,249	404,321
長期貸付金	39,542	39,542
敷金及び保証金	319,466	320,009
繰延税金資産	153,394	150,789
長期前払費用	61,435	61,973
その他	36,052	36,510
貸倒引当金	△40,777	△40,777
投資その他の資産合計	1,440,561	1,364,233
固定資産合計	6,922,170	6,689,590
繰延資産		
株式交付費	13,709	12,137
繰延資産合計	13,709	12,137
資産合計	10,481,052	11,015,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	419,225	421,445
短期借入金	3,587,217	3,513,717
1年内返済予定の長期借入金	754,500	739,500
リース債務	196,710	209,345
契約負債	827,061	692,620
賞与引当金	129,118	72,648
未払法人税等	29,661	23,039
その他	813,475	561,338
流動負債合計	6,756,970	6,233,655
固定負債		
長期借入金	3,093,000	2,817,311
リース債務	253,882	244,723
資産除去債務	319,572	319,720
その他	33,962	32,516
固定負債合計	3,700,417	3,414,271
負債合計	10,457,387	9,647,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,326,328	2,461,589
利益剰余金	△2,567,079	△2,821,874
自己株式	△794,791	△794,791
株主資本合計	△2,025,541	△1,145,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,940	98,775
為替換算調整勘定	1,784,034	1,699,639
その他の包括利益累計額合計	1,886,975	1,798,414
新株予約権	16,762	541,949
非支配株主持分	145,468	172,773
純資産合計	23,664	1,368,062
負債純資産合計	10,481,052	11,015,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,807,163	2,446,558
売上原価	1,661,221	1,575,571
売上総利益	1,145,941	870,986
販売費及び一般管理費	1,025,566	1,585,126
営業利益又は営業損失(△)	120,375	△714,140
営業外収益		
受取利息	1,771	641
受取保険金	240	690
助成金収入	2,419	1,331
投資有価証券評価益	273	—
持分法による投資利益	—	549
未払配当金除斥益	632	1,022
その他	292	116
営業外収益合計	5,628	4,352
営業外費用		
支払利息	12,550	21,080
為替差損	5,864	21,496
支払手数料	2,816	188
投資有価証券評価損	—	1,429
持分法による投資損失	4,116	—
その他	495	1,572
営業外費用合計	25,843	45,767
経常利益又は経常損失(△)	100,160	△755,555
特別利益		
投資有価証券売却益	2,912	516,841
新株予約権戻入益	2,160	—
特別利益合計	5,072	516,841
特別損失		
固定資産除却損	762	—
投資有価証券評価損	7,300	—
リース解約損	—	244
その他	439	—
特別損失合計	8,501	244
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	96,731	△238,959
法人税、住民税及び事業税	18,594	14,904
法人税等調整額	△1,460	4,806
法人税等合計	17,133	19,710
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,597	△258,670
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,923	△45,072
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	67,674	△213,597

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	79,597	△258,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,566	△4,164
為替換算調整勘定	98,843	△84,395
その他の包括利益合計	105,409	△88,560
四半期包括利益	185,007	△347,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,333	△386,982
非支配株主に係る四半期包括利益	11,673	39,752

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンタープライズDX事業	イベントDX事業	サードプレイスDX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,113,591	955,890	737,680	2,807,163	—	2,807,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,113,591	955,890	737,680	2,807,163	—	2,807,163
セグメント利益又は 損失(△)	206,012	△55,650	262,879	413,241	△292,866	120,375

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△292,866千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンタープライズDX事業	イベントDX事業	サードプレイスDX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	912,886	870,921	662,751	2,446,558	—	2,446,558
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	912,886	870,921	662,751	2,446,558	—	2,446,558
セグメント利益又は 損失(△)	158,443	△808,705	184,241	△466,019	△248,120	△714,140

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△248,120千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社であるTEN Holdings, Inc. は2025年2月にNASDAQ市場へ上場したことに伴い、公募による新株式の発行を行いました。これを主な要因として、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が1,135,261千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金が2,461,589千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	256,609千円	265,954千円
のれんの償却額	32,442千円	33,041千円

(重要な後発事象の注記)

(重要な連結子会社の異動)

当社は、2025年5月20日公表の「米国子会社の再編に関する方針決定のお知らせ」のとおり、2025年5月20日の取締役会決議に替わる書面決議において、連結子会社であるTEN Holdings, Inc.（以下「TEN」）を連結の範囲から除外する方針を決議いたしました。